

憲法壊す大軍拡許すな！緊急学習会

「敵基地攻撃能力」って いったいなに…？

ミサイル防衛システム「イージス・アショア配備」を「断念」した直後に急浮上してきた「敵基地攻撃能力」の整備問題。自民党も菅政権も、年内にも結論を出し、そのための大軍拡をすすめようとしています。すでに防衛省は来年度予算の概算要求で過去最高となる5兆4500億円を計上しています。「敵基地攻撃能力」は、「やられる前にやれ！」を地でいく「先制攻撃」そのものです。憲法を根本からくつがえすもので、絶対認めるわけにはいきません。

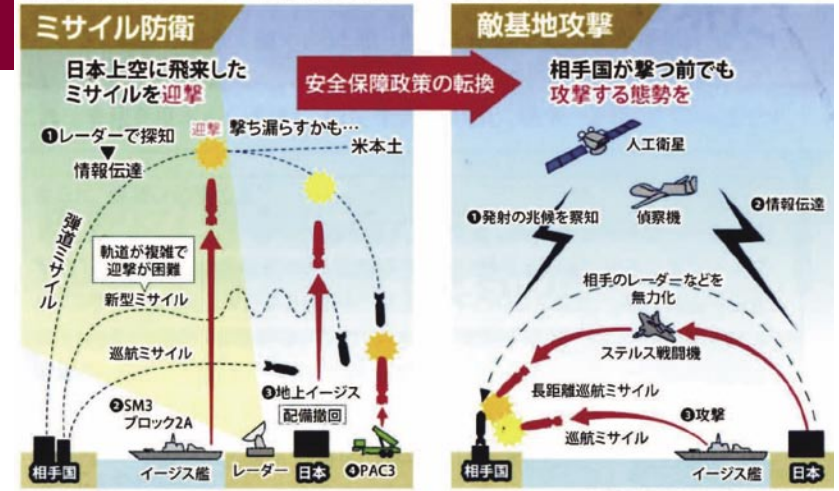
- 日時 **11月12日(木)** 午後6時30分～
- 会場 **埼玉教育会館 201号**
- 話題提供 **二橋 元長さん**
(埼玉県平和委員会代表理事)
- 資料代 **500円**



戦争させない！埼玉の会

埼玉憲法会議 048-836-2101
 埼玉県平和委員会 048-711-4434

「盾」(防御)から「矛」(攻撃)への大軍拡が…



(東京新聞8月27日付の図版を参照して作成)

敵基地攻撃能力「必要」

安倍首相「年内結論」 安保政策転換促す

西川 明大教授に聞く

「敵基地攻撃能力の保有を」自民が提言

NSC議論本格化 安保戦略初改定へ

退く内閣の権限逸脱

安倍首相の談話を巡る議論

憲法が定める専ら防衛に反しないか
 新たな安全保障方針を年内に決定するよう要請
 選挙の首相が次期政権の政策を断らないか
 方針を事前に米国に伝達済みか
 日本政府が決定していないことを既述事実化しないか

自衛隊のミサイル防衛部隊が地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」計画中止を発表

安倍首相が記者会見で、敵基地攻撃能力の保有をめぐって断念を表明し、国家安全保障政策の新しい方向性を国家安全保障会議（NSC）で議論する。政府は、地上イージス計画を断念し、代替となる新たなミサイル迎撃システムの方向性を速に議論する。

自衛隊のミサイル防衛部隊が地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」計画中止を発表

自衛隊のミサイル防衛部隊が地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」計画中止を発表

自衛隊のミサイル防衛部隊が地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」計画中止を発表